



3月定例会、1/16、2/17、3/25臨時会

- * 7年度当初予算…………… 2～3
- * 当初予算質疑…………… 4
- * 施政方針…………… 5
- * 臨時会…………… 6
- * 一般質問…………… 7～14
- * 議会カフェ…………… 15
- * みんなの声…………… 16

地域防災の要です！
磐梯町消防団



3月定例会 令和7年度予算を可決

一般会計予算額 **56億6,787万円**

特別会計予算額合計 10億3,320万円

水道事業会計

1億4,207万円 (収益的支出)

1億2,336万円 (資本的支出)

下水道事業会計

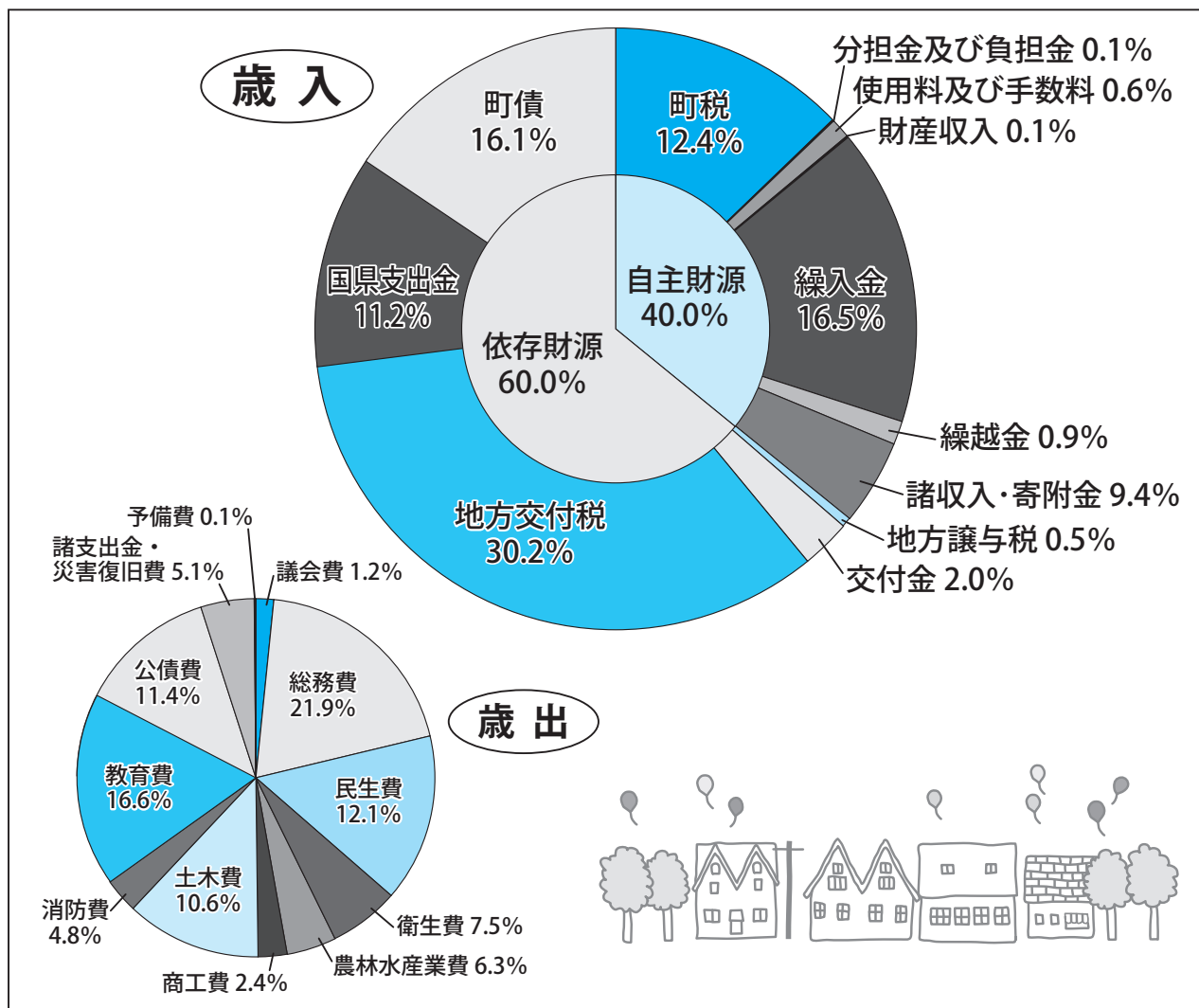
2億6,138万円 (収益的支出)

2億1,866万円 (資本的支出)

3月定例会は、6日から14日までの会期で開催されました。新年度予算案など町長提出33件と、議員提出1件の全議案が審議され、すべて原案通り可決されました。一般質問では8人が登壇し、町政全般について、当局の考えを質問しました。

一般会計

重点事業として、ふるさと納税推進事業、地域交通運行事業、デイサービスセンター、医療センター、介護老人保健施設空調設備更新事業、地域デジタル通貨「ばんだいコイン」運営事業、認定こども園整備事業などを実施。



特別会計予算

国民健康保険	4億2,385万円
後期高齢者医療	5,168万円
介護保険	5億5,765万円
公団分収造林	2万円
水道事業 収益的收入	1億4,540万円
収益的支出	1億4,207万円
資本的收入	2,059万円
資本的支出	1億2,336万円
下水道事業 収益的收入	2億48万円
収益的支出	2億6,138万円
資本的收入	2億1,866万円
資本的支出	2億1,866万円

令和7年度主なる事業(予算額1千500万円以上)

ガバメントクラウド利用事業	3,424万円
地域マーケティング収集分析業務	4,000万円
ふるさと納税推進事業	2億5,000万円
地域交通運行事業	4,349万円
デイサービスセンター消防及び空調設備更新工事	3,100万円
医療センター消防及び空調設備更新工事	8,100万円
介護老人保健施設消防及び空調設備更新工事	1億5,250万円
広域衛生費負担金	3,228万円
新規就農者育成総合対策事業	2,400万円
日本型直接支払交付金事業	7,184万円
地域デジタル通貨「ばんだいコイン」運営事業	2,870万円
橋梁長寿命化事業	2,300万円
道路維持事業	2億3,324万円
道路新設改良事業	1億4,511万円
広域消防負担金	1億2,498万円
防災無線(同報系)更新事業	8,350万円
小中学校特別教室空調設置事業	1億3,600万円
NEXTGIGA学習用端末更新事業	1,925万円
語学教育交流事業	1,823万円
認定こども園整備事業	2億6,854万円
ふれあいセンター指定管理運営事業	3,300万円
史跡整備事業	2,237万円
磐梯山慧日寺資料館運営事業	4,887万円

教育長

中川 綾氏(前教育デザイナーセンター長)が新たに選任されました。



人

事

条例関係

◇磐梯町町民の幸せ共創・協働会議条例

磐梯町町民の幸せプロジェクトが本格的に稼働するにあたり、推進主体となる「磐梯町町民の幸せ共創・協働会議」に関する条例を制定するものです。

◇磐梯町犯罪被害者等支援条例
例 犯罪被害者等が受けた被害の回復、軽減及び生活再建の支援のため制定するものです。

◇磐梯町ふるさと寄附金条例の一部を改正する条例
ふるさと寄附金の使途について、迅速に配分し柔軟な運用ができるよう所要の改正を行うものです。

◇磐梯町公民館条例の一部を改正する条例
4月から町内在住者及び町内団体等の使用料を無料にするよう改正を行うものです。

◇磐梯町ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例
児童扶養手当法等の改正に伴い、所要の改正を行うものです。

◇磐梯町いきいき長寿祝金条例の一部を改正する条例
百歳祝い金を、50万円から30万円に引き下げるものです。

◇磐梯町農村公園設置条例の一部を改正する条例
農村公園の利用及び管理の現状を鑑み、源橋農村公園及び布藤農村公園の2つの公園を廃止するものです。

当初予算の質疑

一般会計

法人町民税

問 法人町民税にかかる法人割の対象法人は何社見込んでいるのか。

答 令和7年度においても、前年同様101社で見込んでいます。

特別地方交付税

問 特別地方交付税算定にかかる地域おこし協力隊21人の配置は。

答 行政経営課6人、産業振興課12人、教育課2人、文化課1人で配置します。

公有財産

問 町計画にある公有財産の整理、処分売却はどうなっているのか。

答 今後、町有地を活用した中で、移住定住も含め検討していきます。

集落支援員の採用

問 集落支援員として採用する職種や活動する内容は。

答 地域ソーシャルワーカー的な仕事や移住定住対策を担っていただく方を採用していきます。

プチ人間ドック

問 各種検診の中のプチ人間ドックは、通常の人間ドックとの違いは。

答 医療センターに導入した全身CTを活用した人間ドックを想定しています。

女性消防団員の活動

問 女性消防団員はどのような活動をするのか。

答 女性消防団員には、主に広報、さらには、被災があった際の避難所運営サポートなどを考えています。

国民健康保険特別会計

問 マイナ保険証の利用は。

答 被保険者750人中580人がマイナ保険証に登録しており、利用者は60%となっています。

医療費の状況は。

問 医療給付費として、月額2100万円ほどかかっています。疾病で多いのは、がん、精神疾患、筋骨格、糖尿病、高血圧の順となっています。

後期高齢者医療特別会計

問 所得に応じた医療費の負担割合は。

答 住民税課税所得145万円以上の方がいるかないないかで3割か1、2割負担が決まり、さらに、1、2割負担の中で28万円以上の所得の方がいるかないないで1、2割負担が決まります。

介護保険特別会計

問 被保険者、介護保険認定者の状況は。

答 被保険者は、令和5年度1257人、令和6年12月末に1248人で微減、要支援、要介護者も令和5年度実績で269人、令和6年12月末に266人で3人ほど減っています。

問 しゃんしゃん生き生き体操等の参加人数は。

答 現在、延べ1421名、ミニデイサービス延べ721名、ばんだい元氣塾は延べ1019人、ばんだい男の元氣塾は延べ20人です。

水道事業会計

問 物価高騰の影響と施設老朽化で水道料の値上げは。

答 水道管の11%が耐用年数を超えているので、更新のために値上げも検討していきます。令和7年度に経営戦略を策定し、

上昇幅抑制の施策も検討していきます。

問 耐用年数が超えている水道管は距離にしてどのくらいか。

答 石綿管は10km程度で、住宅地は下水道工事の際に更新されているのでそれ以外の箇所となります。

下水道事業会計

問 下水道の接続について。

答 自前で浄化槽を構えている家には、下水道に接続していたいただきたいが、工費が個人負担になるためなかなか接続に至らないことがあります。

問 経営戦略策定支援業務の内容は。

答 計画人口を定め、汚水量を予測した上で基本方針をまとめ、投資計画を策定してシミュレーションしていきます。

2025 町長の施政方針

基本理念「自分たちの子や孫たちが暮らし続けたい魅力あるまちづくり」のため、各種取組を具現化してまいります。未来の磐梯町のために「磐梯町町民の幸せプロジェクト」、「多様性と包摂性を重視した教育環境の整備」、「外部人材の積極的な登用による「磐梯町モデル」の構築」を図る大きな一歩を踏み出します。



1 未来に繋がるまちづくり

① 子育て施策

- ・地域社会全体で子どもを育む環境づくりと、「磐梯版ネウボラ」等による切れ目ない支援
- ・すべての子育て家庭への相談体制整備と訪問子育て支援、在宅保育助成制度の検討
- ・質の高い教育・保育の提供に向けた認定こども園の整備

② 教育

- ・令和8年度導入予定の「学校選択制」に向けた準備や実践支援
- ・各小中学校へ教育プロジェクトマネージャーを設置
- ・スクールコミュニティの実施
- ・語学教育に特化した中学生の海外留学派遣事業の継続実施
- ・歴史・文化・交流
- ・「慧日寺跡整備基本計画」に基づく「整備基本設計」の策定
- ・魅力的な展開による史跡周辺エリアへのさらなる誘客
- ・指定文化財の維持管理や、民俗芸能の伝承に対する補助支援
- ・カナダ国オリーブ市との継続性のある交流

③ 歴史・文化・交流

- ・「慧日寺跡整備基本計画」に基づく「整備基本設計」の策定
- ・魅力的な展開による史跡周辺エリアへのさらなる誘客
- ・指定文化財の維持管理や、民俗芸能の伝承に対する補助支援
- ・カナダ国オリーブ市との継続性のある交流

2 やりがいのある仕事づくり

① 農林業

- ・認定農業者や農業生産法人を核に定年帰農や半農半X、企業参入、地域おこし協力隊等の多様な担い手の確保に向けての支援
- ・各集落で策定した地域計画に基づ

き農業経営継続に効果的な支援

- ・ネイチチャーポジティブ実現に向けた取組と農産物や加工品のブランド化による生産者支援や販売促進
- ・町分収造林計画等に基づく間伐や広葉樹林再生事業による、森林環境整備の推進
- ・有害鳥獣捕獲支援事業により、ICT技術の実証の推進

② 商工業

- ・地域デジタル通貨の機能拡充
- ・スーパードレミアム商品券発行事業の継続
- ・資格等支援事業の内容拡充による起業支援
- ・観光
- ・「名水ブランド化事業」に基づく施策の推進
- ・「会津磐梯発日本酒グローバル事業」による台湾他への酒展参加
- ・台湾観光交流人口拡大事業の継続
- ・広報
- ・ウェブサイトの全面的なリニューアル

③ 観光

- ・「名水ブランド化事業」に基づく施策の推進
- ・「会津磐梯発日本酒グローバル事業」による台湾他への酒展参加
- ・台湾観光交流人口拡大事業の継続
- ・広報
- ・ウェブサイトの全面的なリニューアル

3 充実した暮らしづくり

① 健康・医療

- ・「健康磐梯21磐梯町健康増進計画」に基づきすべての町民の健康づくりを支援
- ・デジタルを活用した、「オンライン健康相談」の継続
- ・安全・安心
- ・新たな消防団の女性広報啓発班による防災意識の醸成と地域における

② 安全・安心

- ・新たな消防団の女性広報啓発班による防災意識の醸成と地域における

る自主防災組織の組織化推進

③ 公共交通

- ・生活福祉バス、A1オンデマンド交通の継続
- ・橋梁や町道の修繕による長寿命化
- ④ 循環型社会と生活インフラ
- ・排出抑制を図り、ごみの減量化と循環の促進
- ・上下水道施設の長寿命化

4 共創協働のまちづくり

「磐梯町町民の幸せ共創・協働会議」を設置し、各再デザイン事業の執行と意思決定が速やかに行われる体制整備

① 幸せ・まちづくりの再デザイン

- ・集落支援員制度を活用したコミュニケーションソーシャルワーカーの配置
- ② 行政経営・働き方の再デザイン
- ・持続可能な行政経営を実現するための「行政経営の基盤」構築
- ・真のBPRによる例規等の廃止による業務量削減
- ③ 共創・協働のデザイン
- ・国内外を問わず自治体、企業との共創・協働の推進
- ・ふるさと納税等財源の更なる創出

③ 共創・協働のデザイン

- ・国内外を問わず自治体、企業との共創・協働の推進
- ・ふるさと納税等財源の更なる創出

を 政 問 町 (一般質問) う

(登壇順)

－ 五十嵐 大 将 議員 － 7 ページ

1. 行政サービスのあり方について
2. 要援護者における災害発生時での支援と取り組み

－ 穴 澤 一 郎 議員 － 8 ページ

1. ばんだいコインの今後の方向性について
2. マーケティング事業における実施内容と評価、今後の活用について

－ 古 川 綾 議員 － 9 ページ

1. 町内の施設の活用について
2. 人口増に向けた子や孫たちへの働きかけについて

－ 中 嶋 貴 子 議員 － 10 ページ

1. 磐梯町子ども・子育て支援事業計画について
2. 磐梯町の移住定住促進に関する広報戦略について

－ 高 橋 浩 次 議員 － 11 ページ

1. 地域包括ケアシステムについて
2. 消雪道路の設置について

－ 鈴 木 翼 議員 － 12 ページ

1. 稲作の危機的な担い手不足について

－ 松 坂 隆 洋 議員 － 13 ページ

1. 子どもが楽しめる遊び場を利用できるように

－ 小 林 修 治 議員 － 14 ページ

1. 新年度予算編成について
2. 職員の綱紀・倫理の保持について



一般質問の動画録画配信をYouTubeの磐梯町公式チャンネルにて行っています。こちらからご覧ください。



1月16日

一般会計補正予算(第8号)が可決されました。

主な内容は、こども館改修に関わる測量設計委託料と施設維持補修工事費となります。



2月17日

一般会計補正予算(第9号)が可決されました。

主な内容は、大雪に伴う高齢者世帯への扶助費及び除雪対策費になります。



3月25日

磐梯町職員の勤務時間、休暇に関する条例を含む一部改正2件と令和6年度一般会計補正予算(第11号) 令和7年度一般会計補正予算(第1号)が可決されました。

磐梯町職員の勤務時間、休暇に関する条例を含む一部改正2件と令和6年度一般会計補正予算(第11号) 令和7年度一般会計補正予算(第1号)が可決されました。

令和6年度一般会計補正予算(第11号)の主な内容は、繰越明許費と地方譲与税、各種交付金、地方交付税、国庫補助金等の確定になります。令和7年度一般会計補正予算(第1号)の主な内容は、大雪に伴う農業災害復旧費になります。

五十嵐 大 将 議員

録画配信は
こちら



問 行政サービスのあり方について

答 協働共創を進める中で重要な課題

【質問】 全年齢層の誰もが町へ忌憚のない意見や提言をあげられるための町政モニター制度を設け活用してはどうか。

【町長】 住民参加の町づくりは、広く町民の皆さんから意見や要望を聴くことは極めて重要である。将来に向けて取組を進めていく。

【質問】 行政サービスの質向上には住民への丁寧な接遇が求められる。サービスを提供する側の町として、いかなる取組を考えているのか伺う。

【町長】 実践での接遇研修は効果的と考えコミュニケーション力向上のためにワークショップを計画している。窓口を中心とした職員に対する好意的な評価が8割以上になることを目標としている。

【質問】 住民や行政のより身近な距離や関係構築していく中で、役場庁舎見学や若い年齢層の投票率アップを図る目的も含め、小中高生などを対象に模擬議会開催もアイデアのひとつと考えるが町の見解を伺う。

【町長】 行政を身近に感じてもらうことは本町においても重要な課題である。今後は教育委員会が中心になって子ども議会なども課題と合わせて企画、計画化していく。



問 要援護者における災害発生時での支援と取組
答 災害マニュアルを基に取り組んでいく

【質問】 老人福祉センターが福祉避難所とされるが受入れ人数や建物の老朽化が懸念されている。今後、改善について考えがあるのか伺う。

【町長】 受入れについては状態等を勘案して施設の棲み分けを行い建物の耐震基準はクリアしている。

【質問】 災害時に受入数が超過した場合を想定した対応は普段から考えるべきだが町の見解を伺う。

【町長】 現在、町は災害により異なるが磐梯山噴火を想定し200人の3日分の食糧は備蓄してある。

【質問】 災害時には即戦力としての福祉医療専門職ボランティアの登録推進が必須と考えるが町の考えを伺う。

【町長】 町民の幸せプロジェクトでは、今後3年で福祉の専門的知見を持った人材の育成を行っていく。

【質問】 自主防災組織結成への啓蒙について伺う。

【町長】 新年度でも行政区長などと協議の場を持ち進めていく。



穴澤 一郎 議員

録画配信は
こちら



問 ばんだいコインの方向性について

答 重要な施策で今後も継続していく

【質問】このばんだいコインの現状と今後の在り方について、令和5年度の利用実績と令和6年度状況について問う。

【町長】令和5年度はユーザー数2、455人、チャージ額1億2、105万3千円、7年度末までの利用額は1億3、276万476円。令和6年度の令和7年1月末までの状況は、ユーザー数3、334人で879人増、チャージ額が1億1、577万215円、本年1月末までの利用額は1億2、689万6、899円となる。

【質問】ばんだいコインの各登録施設での利用状況と地域へどのような波及効果があったかを問う。

【町長】スーパーや燃料といった日々の暮らしに係る利用が全体の89%で、利用者の生活支援に大きく貢献している。波及効果は、町外の利用者が5割を占め、磐梯町へ来ていただくきっかけとなった。

【質問】スマホを利用できない高齢者への対応についての考えを問う。

【町長】とくどく商品券の販売を継続したが、今年度は2、000セットの販売に対し、171セットが売れ残った。次年度は販売を工夫し行っていく考えである。

【質問】町は、財政が厳しい状況にあるが、いつまでばんだいコイン事業の継続が出来るのか、その考えについて問う。

【町長】町内での消費を促進し、地元の商業活動を支える重要な事業であるので、継続していかなければならないと考えている。

財源の確保が不可欠であり、今後、ふるさと納税の取り組みを強化するなど、持続可能な形で事業を推進していく。



問 マーケティングの評価と今後の活用は
答 データの利用活用を進めていく

【質問】令和5年度、6年度の2カ年ではばんだい振興公社に委託したマーケティング事業の内容とその活用状況及びその後の活用実績について問う。

【質問】先日、町のHPにオンラインデータとして「町への来訪者及びばんだいコイン利用状況」を公開しているが、この目的及び活用方法、勉強会など、利用を促進するための展開について問う。

【町長】令和5年度は、マーケティングの基礎である、「ビジョン策定」、「マーケティング戦略構築」、「戦略のアクションプランへの落とし込み」を、令和6年度は、「データ分析からの事業再構築」や「新規事業立案」を目指し、ワークシoppなどを通じて習得する内容。活用状況としては、観光資源の効果的なプロモーションや地域の特産品の販売戦略に役立てられている。

【町長】自動車ナンバー読取りによる来訪者の地域データと、ばんだいコイン使用の相関関係を活用した勉強会を開催している。今後は公開したオープンデータを利用し、事業者自らが分析出来るようにし、更なる地域振興に繋がっていきたく考えている。次年度から総務省のアドバイザー制度も活用し、データの活用をできる職員の育成とともに、地域活性化に向けた取り組みを進めていく。

古川 綾 議員

録画配信は
こちら



問 町内の施設の有効活用を！

答 活用に向けて検討していく

【質問】令和4年度に磐梯町駅東口に整備した宅地3区画がそのままになっているが、活用について町の考えは。

【町長】磐梯町の玄関口なので、移住者と町民の交流促進につながるような、二地域居住も見据えた施設を誘致することで進めている。令和7年度早々に公募したい。

【質問】更科グリーンスタジアムが活用されていない。土地活用に興味を持つ可能性のある事業者や団体に認知されるよう情報発信する考えはあるか。

【町長】地権者との借地契約が今年更新となるので、地権者の意向も踏まえ、新しい開発計画も含めて検討したい。

【質問】ふれあいセンターの利用者が依然として少ない。議会カフェにおいて、情報を公開し町民の意見を聞く場を設けてほしいとの要望もあった。今後の活用について町の

考えを伺う。

【町長】昨年は水泳用品の物販を始めたり、新規利用者獲得のため道の駅や民間企業でPRを行ったりした。令和7年度が指定管理の最終年度になるので、更なる利用者数増加に向けて指定管理者と検討する。

【質問】リオン・ドール磐梯店内のクリーニング店が閉店した後、そのまま空き店舗となっている。町で活用する考えはあるか。

【町長】令和7年度から空き家や移住定住に関する業務をばんだい振興公社に委託することで進めており、その相談窓口として活用する。



相談窓口が検討されているスペース

問 「子や孫たち」への働きかけは？

答 改めて検討していく

【質問】人口増加に向けて、どんな人に本町に来てほしいかという点、一番は「子や孫たち」だ。しかしいま本町で行っている移住支援や就農支援を知る「子や孫たち」は少ない。町民自身が「子や孫たち」に支援を説明できるよう分かりやすい小冊子が必要だ。そのような小冊子を作る考えはあるか。

【質問】奨学金の返済支援は「子や孫たち」が本町に戻る一つのきっかけになりうる。令和5年の議会で町独自の奨学金制度について質問した。移住定住プロジェクトチームで検討するとの答弁だったが、その後の進捗は。

【町長】現在、ウェブサイトで特設ページを設けているが、分かりにくい部分もあるので、町民が簡単に理解できる概要版となるものを検討していきたい。

【町長】ばんだい振興公社と連携しながら事例調査とアンケート調査を実施したが、運用資金の確保など課題も多く、検討しきれっていない。今後改めて検討していく。



磐梯町民に磐梯町のコトを聞きました。
-中嶋貴子さん【福島県|磐梯町】

活用が望まれるウェブサイト上の情報

中 嶋 貴 子 議員

録画配信は
こちら



問 第2期計画で実施できなかった事業は？

答 ファミリーサポートセンター設置は未実施だが、継続検討する

【質問】第2期磐梯町子ども子育て支援事業計画の最終年度を終えるにあたり、これまでに何度どのような形で点検が行われ、どのような評価がなされたのか伺う。

【町長】令和2年度に1回、令和3・4年度に計16回、令和5年度に13回、令和6年度に1回の会議を通じて点検・評価が行われた。その中で、幼稚園と保育所の再編が議論され、認定こども園の開設に向けた事業が進められている。

【質問】第2期計画の中で実施できなかった事業はあるか。

【町長】未実施事業としては、ファミリーサポートセンターとホームスタートの設置が実現に至っていない。ただし、ファミリーサポートセンターの設置は断念ではなく、子ども家庭センターの設置を優先したためであり、引き続き検討を進める。



【質問】来年度からの第3期子ども・子育て支援事業計画で、新規事業の実施予定はあるか。また、昨年7月の子育てニーズ調査で「遊び場不足」「公園整備の遅れ」が多く指摘されたが、これをどのように施策へ反映するのか、方針を伺う。

【町長】新規事業として、子育て短期支援事業、ヤングケアラー支援、養育支援訪問事業、こども家庭センター、認定こども園の開設を予定している。遊び場の確保については、広域整備や既存施設の活用を検討し、有料遊び場の助成や教育保育施設の空きスペース活用も視野に入れる。

問 移住定住の広報戦略を強化すべき！

答 移住者の声の発信などにも取り組む

【質問】町長は人口4千人を目指すと明言しており、移住促進には広報戦略の強化が不可欠である。広報戦略の進捗と具体的な方針を伺う。また、移住希望者のニーズについてはどう評価しているか。

【町長】まずは状況把握と必要な施策を検討している。移住希望者からは特に住居に関する問い合わせが多い。

【質問】本町の「磐梯町移住定住ガイド」は、デザインや情報面であり魅力的とは言えない。閲覧数や移住希望者の反応をどう評価しているか。

【町長】「移住定住ガイド」は昨年9月に開設したが、月間閲覧数は約100件と反応は少ない。来年度の町ホームページリニューアルに向け、より魅力的なガイド作成に取り組む予定である。

【質問】移住者数の短期目標やロードマップはあるか。また、成功事例の発信や移住者コミュニティ支援を通じた定着率向上について、町の方針を伺う。

【町長】移住者数の短期目標やロードマップは未定で、現在はニーズ把握を進めている。成功事例の発信や移住者「ミニティ」支援は重要課題と認識し、定着率向上に取り組む。また、移住者の声を発信し信頼性向上を図る。

高橋 浩次 議員

録画配信は
こちら



問 地域包括ケアシステムについて

答 安心して生活できる町づくりを推進する

【質問】 独り暮らしをする65歳以上の高齢者世帯は増え続け、当町においても14・3%に上っている。

本町では第9期介護保険計画に沿って介護を実施しているが、地域包括ケアシステムを構築するための具体的な支援の内容を問う。

【町長】 一番重要なのは個別の事業に対して関係者で解決策を検討し合う個別ケア会議の充実である。心身の状態や生活環境、家庭等の支援者の有無等によって支援の仕方も変わってくる。そのため画一的な手法ではなく個別計画に基づく寄り添った支援が必要になる。

また、本町では包括支援センターと磐梯保健医療福祉センターでデータの一元化が図られおり、データに基づいた支援を行っている。

今回の大雪の際には、高齢者宅を訪問し除雪有無の確認を行った。地域の高齢者を見守るコミュニティを形成することも地域包括ケアシステム

の一つである。

これからも共生社会の実現のため、支える側、支えられる側の垣根のない社会を目指し、今まで取り組んできた事業を進化させながら安心して生活できる町づくりを推進していく。



問 消雪道路設置について

答 特殊路線を対象として慎重に検討する

【質問】 今年の冬は大雪で、会津の市町村でも災害救助法が適用される事態となった。

本町でも幼稚園、小中学校の休園や休校、更には主要道路の通行止め等、今まで経験したことのない事態が発生した。

本町では県道磐梯町停車場線で消雪道路が稼働している。今後さらに消雪道路の設置を検討する考えはあるか。

【町長】 消雪道路は経費が非常に高額であるが、大雪時には処理能力が追い付かなくなる。また、大型車両により設備が破損することもあり、故障が多く保守が困難であるため、本町が融雪道路を設置したことはない。

かつて榮川酒造からメロウウッドゴルフ場まで無散水融雪道路を整備したが、インシャルコストは数億円、ランニングコストは数千円だった。

設置については機械による除雪が困難な特殊路線を対象として慎重に検討していく。



消雪道路

鈴木 翼 議員

録画配信は
こちら



問 稲作の危機的な担い手不足について

答 町と関係機関で連携していく

【質問】 農業者の減少と高齢化が深刻で、高齢者が農地を預けたくてもそれを担える若手農家の数が足りず、限界が来ている集落もある。過去5年間に稲作を始めた新規就農者の中で、町内出身で家族が農家の場合、町内出身で家族が非農家の場合、町外から移住してきた場合のそれぞれの人数を問う。

【町長】 町内出身で家族が農家のケースで1名、親からの事業継承で3名、退職等を機に就農したケースが2名、合計6名である。町内出身で家族が非農家の場合と、町外から移住してきた場合の該当者はなかった。

【質問】 農業人フェアなどの農業求人イベントへの参加、農業研修や農業体験の受け入れ、新規就農希望者への相談会の開催、就農移住に関するPRなどを行う予定があるか問う。

【町長】 今年度、農業求人イベントへの参加は無かった。農業研修の受け入れは、町内において就農促進に向けた研修機関の認定が1件あり、今後、就農準備資金を活用しての就農が期待されている。就農希望者への相談会や就農移住に関するPRは、地域おこし協力隊の募集に併せ、機会を見ながら実施していく。

【質問】 以前、地域おこし協力隊制度の他に、集落支援員制度と特定地域づくり事業協同組合制度を活用していくとの答弁があったが、その後の進捗状況を問う。

【町長】 集落支援員制度については、令和7年度から3名配置することで予算計上しており、現在募集に向けた準備を進めているところである。特定地域づくり事業協同組合制度の活用についても、令和7年度から予算計上しており、10月の事業開始を目指している。また、運営に係る地域おこし協力隊について、令和7

年度から委託型1名を予定している。

【質問】 後継者がいない農家に対して、家族以外の就農希望者に、設備や機械、農地などをそのまま譲り渡して事業継承する、いわゆる第三者継承を町が間に入って斡旋やサポートをする考えがあるか問う。

【町長】 県とJA、県農業会議、県農業振興公社の職員を配置した県就農支援センターが総合相談窓口として設置されており、農林事務所と市町村が情報を共有し対応していく。町内においても、現在1件の対応をしているところで、町が独自に斡旋やサポートするのではなく、関係機関と連携を強化しながら対応していく。



松 坂 隆 洋 議員

録画配信は
こちら



問 子どもたちの遊び場確保に向けた支援は？

答 公共施設の共同利用を検討する

【質問】町には、小さい子どもが楽しめる遊び場が少なく、天候が悪い日は室内で遊ぶことになるが、町の保健福祉センターの開放日だけだと、曜日や時間が限られてしまう。他の自治体が設置している子ども向け施設を有効に活用し、町民が有料の遊び場を利用する際、町が利用料の一部を負担するなどの支援を検討する考えはあるか伺う。

【町長】本町における子育て支援施設の充実は大きな課題であるが、新たな施設整備は財政面などから困難な状況にある。昨年10月の会津耶麻町村会でも同様の課題が共有されており、今後は他市町村との公共施設の相互利用を検討し、整備コストや維持管理費の分担による財政負担の軽減を図っていききたい。

【質問】他自治体設置の遊び場等を利用できる広域連携についての考えはあるか伺う。

【町長】異なる自治体の子どもたちが共に遊び、学ぶことで交流が生まれ、協力や理解が深まり豊かな経験となると期待している。施設の相互利用を早期に実現し、住民福祉の向上と広域的なコミュニティの活性化を目指す。「町民の幸せプロジェクト」の中で施設の在り方を見直し、公共施設等総合管理計画の改訂も視野に入れて取り組んでいく。



保健福祉センターでの遊具

**次回の定例会は
6月上旬に行われます。**

ぜひ傍聴においでください。

手続きは、3階議場入口で住所氏名を記入するだけです。

くわしい日程は、後日チラシ等でお知らせします。

議会を傍聴する際、3階へはエレベーターをご利用ください。

小林 修 治 議員

録画配信は
こちら



問 新年度における特徴となる重点事業は

答 新規の「認定こども園整備事業」となる

【質問】 新年度一般会計当初予算の目玉となる事業は何か。

【町長】 新規事業として、認定こども園整備事業を令和9年4月の開園を目指す。

【質問】 かつてない大規模予算に伴い、歳入は基金費の繰入、町債の増額に依存せざるを得ないが次年度以降、負担にのしかかる重みの対処への考えは。

【町長】 基金から繰入2億4千万円、町債が5億5千万円の増で、次年度以降も厳しい財政運営が想定されるため、事業を取捨選択し対応する。

【質問】 「誰一人取り残さない共生社会の実現」には、これまででない自主財源の確保が最大の課題であり、ふるさと納税に頼るほか、財源確保の具体的取組みを伺う。

【町長】 特別地方交付税財源や国のアドバイザー制度を活用して財源効果を生み出し、

財源の確保を行う。

【質問】 新年度からの行政組織再編等を踏まえた人件費の伸びは。

【町長】 人件費は、約7千万円伸びている。新組織再編による外部人材については、国の人材確保事業を活用し特別地方交付税の対象となるよう措置をしている。

【質問】 教育再デザイン構想事業における施設整備事業が先行する中、学校と家庭を結びつける子どもたちの時間の空間の受け皿となる遊び場の確保・整備が必要でないか伺う。また、学校施設開放は。



遊び場に適した第一小・幼稚園施設周辺

【教育長】 「選べる放課後」のもと、子どもたちにどのような環境をつくれればよいかを

話し合っていく。また、第一小学校庭の活用を月1回遊び場としてサポートしている。

問 職員の綱紀・倫理の保持について

答 「職員行動規範」を策定する

【質問】 職員（公務員）としての自覚、品位の保持、法令遵守の徹底指導の取組みは。

いる。

【質問】 職場における健全な上下関係構築の取組みは。

【町長】 服務規律の徹底や勤務時間の内外を問わず、綱紀の厳正保持を機会あるごとに指導し通達をしている。

【町長】 今年度は、職場環境を改善するための業務を外部に委託する。

【質問】 服務規律の徹底、その実態を伺う。

【質問】 「綱紀保持基本指針」の策定の考えはあるか。

【町長】 特に、著しく乱れてはいないと判断している。

【質問】 職場環境改善の取組みを伺う。

【町長】 職場環境改善業務委託の中で「職員行動規範の策定」を考えている。具体的な内容は、関係法令を遵守し、高い倫理観をもって行動することを意識つけた指標となるものを策定する。

【町長】 環境改善は職員安全衛生委員会による職場環境点検により、その都度改善して

第4回 議会カフェ開催しました

磐梯町議会広報委員会 議会カフェ報告



磐梯町議会では1月25日（土）にリオン・ドール磐梯店コミュニティスペースにて「第4回議会カフェ」を開催しました。17名の町民の方々が参加され、グループに分かれて町のことについて話し合いました。

併せて、議会デジタル検討委員会より一般質問のYoutube動画配信についての説明も行いました。

◇当日の様子をレポートします。

<グループで話されたテーマ>

- ▷小学校選択制について
- ▷子供達の遊び場の確保について
- ▷オンデマンドタクシー
- ▷除雪について



各グループでさまざまな意見がだされました

<みなさんから出された意見の一部>

▶小学校選択制について

- ・自由進度学習って何？
- ・全町民にもっと詳しい説明を。
- ・一小と二小の偏りができたらどうするのか？
- ・政策決定について疑問がある。
- ・メディアへのPR不足。
- ・小学校を一つにする考えはないのか。など

▶子ども達の遊び場について

- ・校庭開放しては？
- ・道の駅に公園を作っては？
- ・空いている場所を活用してもらいたい。
- ・図書館が大事。など

▶タクシー

- ・オンデマンドになったが使いづらくなった。
- ・予約なしでも使えるようにしてほしい。
- ・1台は駅で待機しては？ など

▶除雪

- ・除雪ボランティアについて。
- ・貸し出し除雪機の利用について。
- ・今年の除雪状況について。など

<みなさんからの感想（アンケート抜粋）>

- ・多様な意見を聞く機会は貴重。
- ・継続して欲しい。
- ・町民の意見や考えを知ることができる。
- ・議会カフェで出た意見にどう対応したか知りたい。

<今後取り上げて欲しいテーマや内容について>

- ・少子高齢化。
- ・子どもたちの教育。
- ・町長の施策について深掘り。
- ・育成会や老人会の存続。 など



※次回開催については、決定次第チラシなどでお知らせします。
ぜひご参加ください。

人口減少しているところで、現団員の後任不足が見受けられ、分団内でも勧誘に苦労しているところです。火災など災害発生時に小型ポンプ等を動かす際に最低限必要な人数を確保する事が重要です。

町には自然水利のほかには消火栓や防火水槽が設置してありますが、年数経過による劣化が激しいものが見受けられます。定期的に更新を検討ください。

消防団員においては火災時の連絡として防災無線放送と団波無線放送のほかにスマートフォンの専用アプリを使用しております。しかし機能に限界を感じているところです。

磐梯町には若者がいますが、消防団に入ってくれる人がなかなかいません。分団ごとに勧誘は実施していますが、限界があります。

このままでは高齢化が進み、町での火事や災害時に対応できなくなります。町として深刻な問題だと認識していただき、対応をお願いします。

自分は昨年より班長を仰せつかり約1年間活動してきました。年度末ということもあり、来年度に向けて新入団員の勧誘を行いました。高校卒業後進学で県外に出る等の理由もあり、なかなか入団希望者がいないのが現状です。

自宅在住者で入れないと答えた本人に理由を聞くと、

- ・交代勤務だから無理
- ・仕事が忙しくて無理
- ・活動が多くてついていけない
- ・今から入る年齢ではない（30代）

その他いろいろな意見がありました。

表立って聞こえてはこないですが、中には親がかつて経験者で昔の話を聞かされ入りたくないなんて人もいます。新規入団者の確保に本当に苦労しています。議会の方でも町在住者で新規団員確保に繋がる様な策を、何か検討して頂ければと思います。

経年劣化により道路端のあぜ、土手部分がやせております。また、ポールや消防設備が傾いており、車同士のすれ違い余裕も減っている状態です。コンクリート部分を広げる、土手の補修を行うなど長期的に力を入れていただければ幸いです。

消防団員の勤続年数の表彰ある時に金一封があるといいと思います。例えば、勤続10年5万、勤続15年10万とかあればいいです。

防火服を新しくして欲しいです。ボロボロで水も入るしカビも。

編集後記

この冬は大変な雪でした。私の地区でも共同で雪かたしをしたり、道にかかった枝を切ってくれた方がいたり、大変な中だからこそ人の温かさを感じた冬もありました。今、桜が咲き、束の間のいい季節になりました。そしてこれから暑い夏がやってきます。気候変動の中、異常気象に備え、地域での助け合いが重要になってきます。磐梯町は他の町村に比べても地区の絆が強い町だと感じます。移住者が増え、世代が変わっても、受け継いでいきたい文化です。ともに自然に抗い、自然を慈しみながら、絆を大切にしていきたいですね。

(文責 古川 綾)

議会だより 発行責任者

議長

編集

議会広報委員会

委員長

副委員長

委員

委員

鈴木 久一

穴澤 一郎

中嶋 貴子

五十嵐 大將

古川 綾